

# ショップ「ルクリア」が百貨店に出店！ 新たな成長物語が始まります。

編集室から 販売・リテイリスト 支援のページに、ショップ「ルクリア」が1年半ぶりに帰ってきまし た。ルクリアが初めて百貨店に進出 し、入社して2年の麻紀が店長に抜 擢されて、前回の物語は終わりました。店長になった麻紀が、これから どんな物語を見せてくれるのでしょ う。麻紀や新しいショップスタッフ の成長を見守って下さい。

駅直結のファッションビルに店を構えて いたショップ「ルクリア」が、百貨店に初 出店してから一年半が経った。ルクリアが 入っている南城百貨店は、20代後半から30 代の働く女性を取り込むために大規模な改 装をした。その際に婦人服のブランドを見 直し、ルクリアを専人することになったの

## ★続 ショップ「ルクリア」 成長物語

作 松井柚子 画 住田葉子  
監修 武永昭光  
(シヨーアンドテル代表)

[ 1 ]

だ。ターゲットのニーズと合ったMDの再 編で改装は成功し、業績も予算を大きく上 回る成果が出ている。

ルクリア南城店は新人だった麻紀が店長 に抜擢されたのだが、売り上げは順調に伸 びている。

それまで麻紀の上司であった元店長の瞳 は本社勤務になり、スーパーバイザーとし て統括地区の売り場を見回り、店頭のスタ ッフへの指導を任されている。

麻紀が瞳のもとで働いていたころは、自 分の店のスタッフだけで自由にやってきた ので、南城百貨店に来てからは、窮屈に感 じることも多かった。マネジャーや部長の ダメ出しがたびたび入るのだ。

「憂鬱だなあ……」麻紀が言った。

「明日は店長会議ですもんね」。麻紀を 支える副店長の美穂だ。美穂はとても落ち

## 店独自の打ち出しが肝心

### 9月「テーマの設定」

着いた雰囲気がある。  
「これから瞳さんに電話するから、売り 場をお願いね」

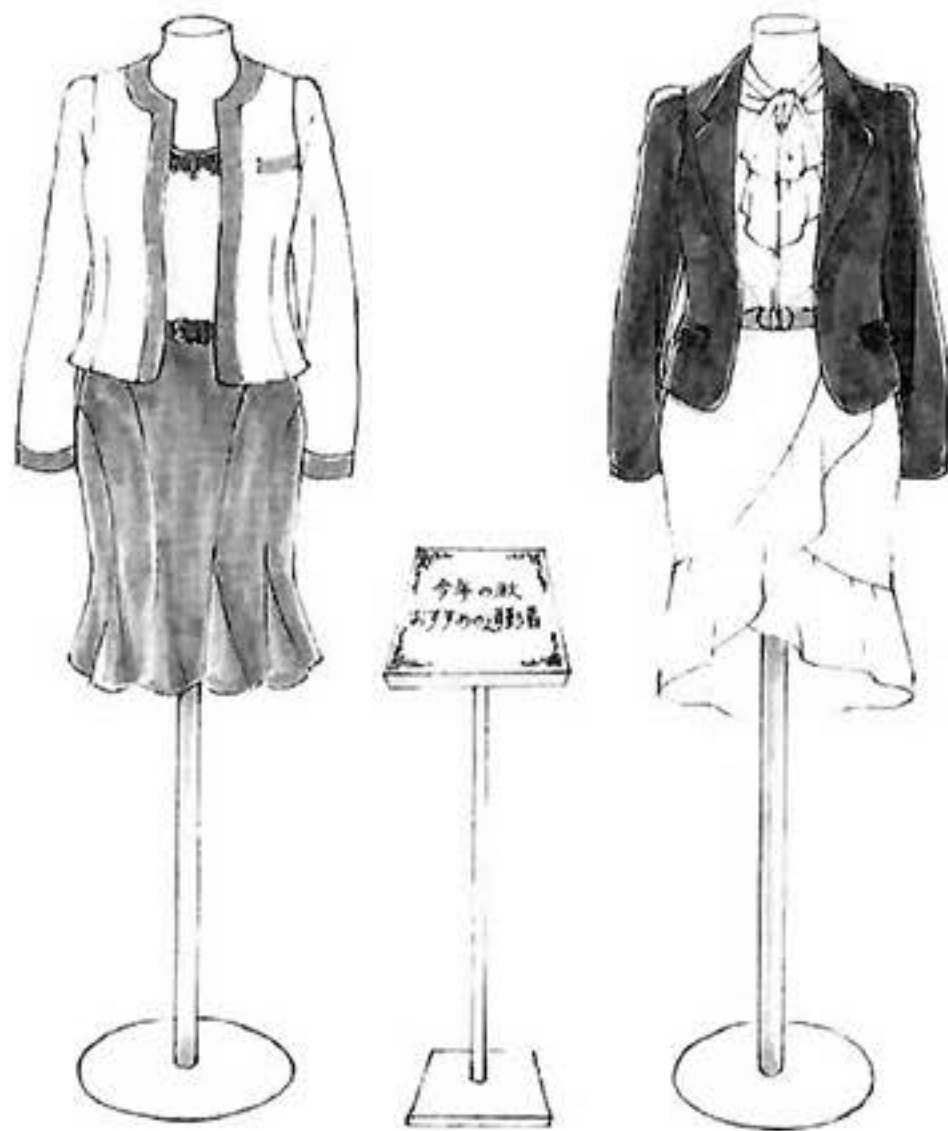
明日は各ショップの店長が、部長やマネ ジャーに売り上げ報告などを行う定例会議 の日で、来月のテーマを発表しなくてはな らない。

ルクリアのフロアの大谷マネジャーは、 以前はVMDを担当していたらしい。その せいかVMDの原則はもろろん、「今、何 を売りたいのか」「どのようなテーマを打 ち出しているのか」など、どのような考え のもとで売り場を作っているのか、かなり深 く追及されることもしばしばだった。

例えば売り場を見て回る際に、ディスプ レー商品が近くに展開されているか、つま りお客様がディスプレイを見て「欲しい」 と思った時に、すぐに手に取ることができ る場所にあるかを常々チェックされる。

麻紀の記憶に新しいのは、展開の仕方を 指摘された時のことだ。その時、ルクリア の売り場では、商品をアイテム別に展開し ていた。ホワイトデニムをディスプレイで 見せていたので、そばのラックにそれをか けていたのだが、離れた所にも他の型のホ ワイトデニムを置いていた。

大谷マネジャーは麻紀に、2カ所に分か



来月のテーマはファッ ショントレンドの 「マスキュリン」だ が、ルクリアには該 当する商品がない。 ない場合は代わりの テーマを設定すること になっている。麻紀 は「秋らしい通動着」にしよう と考えていた。

瞳が言う。

「うん、「秋らしい通動着」、いいと思うわ。ちょうど、来月の頭に伸縮性のある素材のジャケットが発売されるの。それが雑誌でも紹介されるのよ。だから、第2テーマは「伸縮性のある素材のジャケット」はどう？」

「わかりました。さらに細かいテーマはど うしたらいいでしょうか？ コーディネート がいいと思うんですけど……」

「じゃあ「マリーメイトスカート」のコー ディネートはどうか。そのコーディネ ートで雑誌に載るから」

「そうですね。それなら在庫も十分あり ますし、売り上げアップにつながりそうで す！」

こうしてルクリアの来月のテーマが決ま った。メインテーマは「秋らしい通動着」、 さらに細かいテーマは「伸縮性のある素材 のジャケット」、そしてさらに細かいテー マは「マリーメイトスカート」のコーディネ ートだ。それをバイザーに善せたりP.O.P (広瀬広告)で紹介したり、お客様の目 につくように展開する。

「ありがとうございます！ やっぱ瞳 さんは頼りになります！」

「私に相談しなくても一人でできるよう に努力しなさいよ(笑)。今週末そっちに 行くから、会議の話聞かせてもらうわね」

百貨店や専門店ビルなど大型商業施設に 入店していると、全体としての統一性を重 視し、VMDなどの指針を示されることが あるが、品揃え面で無理な場合は、シヨッ プとして独自のテーマを打ち出し、品揃え の一部を伝えることが必要だ。